記録番号	RN	M	通報の詳細　該当する年の通報の一連番号
記録日	RD	M	通報の詳細　送信の日付
記録時刻	RT	M	通報の詳細　送信の時刻
通報の種類	TM	M	通報の詳細　通報の種類ＲＥＰは、漁業資源の暫定的な採捕量に関する月別統計の報告を示す。
年月	YM	M	報告の詳細　報告に係る年月
関連水域	RA	O	報告の詳細　採捕が行われた小水域
採捕量	CA		報告の詳細　該当する締約国の船舶が、条約水域において採捕した種ごとの総採捕量。必要に応じ、複数の種についてまとめて報告することを認める。
種		M	国際連合食糧農業機関の魚種コード
生魚重量		M	トン（一トン未満の端数は四捨五入する。）
累積採捕量	CC		報告の詳細　報告が行われる年の始めからの種ごとの総採捕量。必要に応じ、複数の種についてまとめて報告することを認める。
種		M	国際連合食糧農業機関の魚種コード
生魚重量		M	トン（一トン未満の端数は四捨五入する。）
記録の終了	ER	M	システムの詳細　記録の終了を示す。

各データの送信は、次の方法に基づく。

ダブル・スラッシュ（//）及び「ＳＲ」の文字は、通報の開始を示す。

ダブル・スラッシュ（//）及び分野符号は、データの要素の開始を示す。

シングル・スラッシュ（/）は、分野符号とデータとを分離する。

複数のデータをまとめて報告する場合には、空欄によって分離する。

「ＥＲ」の文字の後のダブル・スラッシュ（//）は、記録の終了を示す。

付表三　船舶監視システムにおける報告の様式

旗国の漁業監視センターが探知する条約水域における位置の報告であって最初に送信されるものについては、「ＥＮＴ」をもって明示する。その後のすべての位置の報告については、「ＰＯＳ」をもって明示する。ただし、条約水域外において最初に特定される位置の報告については、「ＥＸＩ」をもって明示する。

事務局は、旗国が要求する場合には、「ＲＥＴ」をもって明示する返信通報を用いてすべての電子的報告の受信を確認する。

通報の配列は次のとおりとする。

報告	分野符号	注釈
入域	ＥＮＴ	条約水域内にあると探知される船舶からの最初の位置の報告
位置	ＰＯＳ	二時間ごとの位置の報告
出域	ＥＸＩ	条約水域外にあると探知される船舶からの最初の位置の報告

前記によって明示される報告には、次の情報を含める。

データの要素	分野符号	必須（Ｍ）／選択（Ｏ）	注釈
記録の開始	ＳＲ	Ｍ	システムの詳細　記録の開始を示す。
あて先	ＡＤ	Ｍ	通報の詳細　送付先　南東大西洋漁業機関事務局（ＸＳＥ）
通報の種類	ＴＭ	Ｍ	通報の詳細及び種類に応じて、入域、位置又は出域ＥＮＴ、ＰＯＳ又はＥＸＩを適宜表示する。
無線通信呼出符号	ＲＣ	Ｍ	船舶の登録の詳細　国際無線通信呼出符号
航行番号	ＴＮ	Ｏ	活動の詳細　該当する年の漁獲のための航行の一連番号
船名	ＮＡ	Ｏ	船舶の登録の詳細　船名
国内参照番号	ＩＲ	Ｏ	船舶の登録の詳細　旗国における固有の船舶番号。旗国のＩＳＯ―３コードの後に番号を記入する。
外部登録番号	ＸＲ	Ｏ	船舶の登録の詳細　船舶のサイド番号
緯度（小数点以下第一位まで）	ＬＴ	Ｍ	活動の詳細　送信時の船舶の位置
経度（小数点以下第一位まで）	ＬＧ	Ｍ	活動の詳細　送信時の船舶の位置
日付	ＤＡ	Ｍ	通報の詳細　送信の日付
時刻	ＴＩ	Ｍ	通報の詳細　送信の時刻
記録の終了	ＥＲ	Ｍ	システムの詳細　記録の終了を示す。

各データの送信は、次の方法に基づく。

ダブル・スラッシュ（//）及び「ＳＲ」の文字は、通報の開始を示す。

ダブル・スラッシュ（//）及び分野符号は、データの要素の開始を示す。

シングル・スラッシュ（/）は、分野符号とデータとを分離する。

複数のデータをまとめて報告する場合には、空欄によって分離する。

「ＥＲ」の文字の後のダブル・スラッシュ（//）は、記録の終了を示す。

外務大臣　岡田　克也

農林水産大臣　赤松　広隆

内閣総理大臣　鳩山由紀夫